



## 新型コロナ対応について

3月3日現在、本校の児童および教職員から陽性者は発生しておりません。3月6日までの県のまん延防止重点措置は解除される見通しですが、県内の感染者数は高止まりの状態が続いています。引き続き学校では感染症対策を徹底させながら教育活動を進めていきます。

新型コロナ対応について、以下の点についてご確認のほどをお願いいたします。

- ① 学校内で児童・教職員から陽性者が発生した場合、学校及び町の関係機関が校内の濃厚接触者を特定します。濃厚接触者と特定された児童のご家庭に連絡をし、指示された期間、出席停止となります。
- ② お子さんの同居家族が陽性者となった場合は、お子さんは濃厚接触者となります。陽性者と最後に接触した翌日を1日目として、7日間の「出席停止」となります。
- ③ 学校内の陽性者や濃厚接触者に関する情報は、町教育委員会から発信されます。学校から情報は発信しません。学校へのお問い合わせもご遠慮ください。
- ④ 同居家族に「濃厚接触者」「検査対象者」「発熱・頭痛・のどの痛みなどの風邪症状」がある場合は、万が一を考えて登校を控えてください。

## 本校の校歌

作詞・作曲 永田 六郎

- 1 けんこんはるに うるおいて  
しおさいのねに ゆられつつ  
さくらはなさく すわのもり  
そのはなのごと あれいでん
- 2 たえざるながれ みたきがわ  
きんぱおどらす らちのはま  
かんらんのなに あやかれと  
つよきこころを しめすなり

(昭和9年1月17日制定)

子どもたちが元気に歌う福田小校歌は、88年間歌い継がれてきました。歌詞は七五調で歌いやすいのですが、文語体のため子どもたちには難解です。ほとんどの子は意味を知らずに歌っているのではと常々思っていました。子どもたちが情景をイメージしながら歌うことができればと思い、「学校沿革誌」に記載されている現代語訳を載せてみました。

- 1 天も地も辺り一面春になり やわらかい光に包まれている。  
太平洋から寄せる波の音に揺られ 諏訪の森には桜の花が咲いている。その桜の花のようにきれいな心で生きていきましょう。
  - 2 いつもきれいに絶えることなく流れる三滝川。金色に光っている波が寄せる埠の浜。 波(瀾)の見える学校(※観瀾校)の私たちは 波のように強い心を持って生きていきましょう。
- ※ 昔、福田小は「観瀾校(かんらんこう)」と呼ばれていました。

## 今日は楽しいひな祭り

毎年、学校1階の廊下に、本校用務員の秦野さんが雛人形を飾ってくださっています。出し入れの大変さは、十数年前まで我が家の「雛人形」担当だった私にはよく分かります。季節を感じる日本の年中行事、伝統文化は、特にこのご時世においては心が和みますね。秦野さん、ありがとうございます。



ところで現在雛祭りは女の子のお祭りとして浸透していますが、元々は男女関係なく子どもの健やかな成長を願って行われていたものです。多様性が尊重される現代社会において、大晦日に行われている毎年恒例の「紅白歌合戦」が方向転換しつつあるように、「雛祭り」も世の中の人々全員が楽しめる行事へと原点回帰し、よき伝統文化がこれからも継承されればと思います。